

世論調査結果報告書
平成28年10月調査

健康と保健医療に関する世論調査

平成29年3月

 東京都生活文化局

ま え が き

超高齢化社会を迎え、長くなった人生を健やかに送るために、疾病の早期発見や早期治療にとどまらず、生涯にわたり心身の健康づくりに取り組むことが重要です。

東京都では、平成25年3月に「東京都健康推進プラン21（第二次）」（以下「プラン21」という。）を策定し、どこに住んでいても生涯にわたり健やかで心豊かに暮らせる社会を目指し、総合目標として「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を掲げ、生活習慣病の発症予防や生活習慣の改善の取組を進め、都民一人ひとりが主体的に取り組む健康づくりを、社会全体で支援し、総合的に推進することを目的としています。

このプラン21の取組目標の指標等には、本調査の数値を一部用いており、今回の世論調査では、こころと体の健康づくり、飲酒の習慣、メタボリックシンドロームの認知度等、都民の健康に関する意識を把握し、プラン21の中間評価に活用するために実施しました。

また、東京都では、少子高齢化がさらに進展し、医療需要の増加が見込まれる2025年に向け、患者の症状や状態に応じた効率的で質の高い医療提供体制を確保し続けるため、昨年7月に「東京都地域医療構想」を策定しました。

今後、効率的で質の高い医療提供体制の構築と在宅医療・介護の充実等をはじめとする地域包括ケアシステムの構築が一体的に行われる必要があり、都民、行政、医療機関、保険者など、医療・介護・福祉等に関わる全ての人が協力していくこともますます重要となります。

こうした状況を踏まえ、今回の世論調査は、都内の医療機関、医療サービスに関する都民の方々の意識や保健医療施策に関する要望などを把握し、平成30年に予定している東京都保健医療計画の次期改定等、今後の保健医療施策の参考とするため実施しました。

これらの調査結果が、行政担当者のみならず、広く都民の方々と、健康づくりや保健医療施策に関心のある方々のお役に立てば幸いです。

最後に、この世論調査にご協力いただいた多くの皆様に深く感謝申し上げます。

平成29年3月

東京都生活文化局広報広聴部

目 次

※印は過去の調査との比較がある質問項目

調査実施の概要	①～⑦
調査結果の詳細	1
1 心と体の健康づくり	3
※1-1 健康状態の評価	3
※1-2 イライラやストレスの有無	7
※1-3 心身のゆとり	12
※1-4 気軽に話ができる相手	16
※1-5 専門機関へ相談することの必要性を感じたことがあるか	19
※1-6 適切な相談窓口をみつけることができたか	21
※1-7 余暇の充実度	23
※1-8 睡眠の充足感	28
※1-9 理想の就寝時間	32
※1-10 実際の就寝時間	35
※1-11 理想の就寝時間に寝られない理由	38
※1-12 睡眠の質が低下している自覚があるかどうか	41
2 飲酒の習慣	44
※2-1 飲酒の状況	44
※2-2 適切だと思う1回あたりの飲酒量	46
※2-3 実際の飲酒量	48
※2-4 飲酒習慣の改善意欲	50
3 喫煙の健康への影響と受動喫煙	52
※3-1 今までの喫煙状況	52
※3-2 現在の喫煙状況（頻度）	54
※3-3 喫煙の習慣	56
※3-4 1日の喫煙本数	58
※3-5 喫煙習慣見直しに対する意欲	59
※3-6 飲食店等の受動喫煙対策の現状	60
※3-7 飲食店等に望む受動喫煙防止対策	67
※3-8 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」の認知度	69
4 メタボリックシンドロームの認知度	71
※4-1 メタボリックシンドロームの認知度	71
5 保健や医療に関する情報の入手方法	74
※5-1 保健や医療に関する情報の入手方法	74
※5-2 保健や医療に関する情報の充足度	78
※5-3 医療情報サービスの認知度	81
※5-4 利用したことがある医療情報サービス	85
※5-5 必要だと思う保健や医療に関する情報	88

6	医療機関の受診の仕方について	92
※6-1	過去1年間の医療機関への通院経験	92
※6-2	過去5年間の医療機関への入院経験	93
6-3	かかりつけ医の有無	94
6-4	今のかかりつけ医を選んだ理由	97
※6-5	最初に受診する医療機関	100
※6-6	かかりつけの医療機関かどうか	103
7	救急医療について	108
※7-1	夜間や休日に医療機関を探す手段	108
※7-2	夜間や休日に最終的に受診する医療機関	111
8	在宅療養等について	114
※8-1	在宅療養の希望の有無	114
※8-2	在宅療養の実現性	117
※8-3	在宅療養の実現は難しいと思う理由	120
※8-4	希望する人生の最終段階における医療	124
9	関心のある保健医療問題について	127
※9-1	関心の高い保健医療問題	127
10	行政への要望について	131
※10-1	保健医療対策に関する行政への要望	131
	集計表（調査結果の一覧表）	137
	調査票及び単純集計結果	191

調査実施の概要

1 調査目的

こころと体の健康づくり、飲酒の習慣など、都民の心身の健康と健康づくりに関する意識を把握し、「東京都健康推進プラン21（第二次）」の中間評価に資するとともに、都民の健康づくり施策を推進する際の参考とする。

都の保健医療に関する都民の意識や要望等を把握し、「東京都保健医療計画」の次期改定等、今後の保健医療施策の参考とする。

2 調査項目

- | | |
|----------------------|---------------------|
| (1) こころと体の健康づくり | (6) 医療機関の受診の仕方について |
| (2) 飲酒の習慣 | (7) 救急医療について |
| (3) 喫煙の健康への影響と受動喫煙 | (8) 在宅療養等について |
| (4) メタボリックシンドロームの認知度 | (9) 関心のある保健医療問題について |
| (5) 保健や医療に関する情報の入手方法 | (10) 行政への要望について |

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：3,000標本
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：調査員による個別訪問面接聴取法
- (5) 調査期間：平成28年10月21日～11月6日
- (6) 調査実施機関：一般社団法人輿論科学協会

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率） 1,680標本（56.0%）
- (2) 未完了標本数（率） 1,320標本（44.0%）

未完了標本内訳

	転居	長期不在	一時不在	住所不明	拒否	その他
1,320標本	119	92	654	39	411	5
比率(%)	9.0	7.0	49.5	3.0	31.1	0.4

(3) 性・年齢別回収結果

	男性			女性			合計		
	標本数	回収数	回収率(%)	標本数	回収数	回収率(%)	標本数	回収数	回収率(%)
18・19歳	28	9	32.1	28	14	50.0	56	23	41.1
20代	218	95	43.6	242	79	32.6	460	174	37.8
30代	302	116	38.4	270	138	51.1	572	254	44.4
40代	317	145	45.7	300	176	58.7	617	321	52.0
50代	243	130	53.5	204	144	70.6	447	274	61.3
60代	196	140	71.4	208	153	73.6	404	293	72.5
70歳以上	198	161	81.3	246	180	73.2	444	341	76.8
合計	1,502	796	53.0	1,498	884	59.0	3,000	1,680	56.0

(注) 平成28年度より、選挙権年齢の引き下げに伴い、18・19歳を調査対象者に加えた。

5 標本構成 (n=1,680)

〔上段：実数〕
〔下段：(%)〕

(1) 性別

男	女	計
796	884	1,680
47.4	52.6	100.0

(2) 年齢

	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	計
男	9	95	116	145	130	140	161	796
	0.5	5.7	6.9	8.6	7.7	8.3	9.6	47.4
女	14	79	138	176	144	153	180	884
	0.8	4.7	8.2	10.5	8.6	9.1	10.7	52.6
計	23	174	254	321	274	293	341	1,680
	1.4	10.4	15.1	19.1	16.3	17.4	20.3	100.0

(3) 職業 ※ 年齢別職業分布はP④参照

自営・家族従業(計)					勤め(計)							無職			無回答	計
農林漁業	サービス業	商工	自由業	無回答	経営・管理職	専門・技術職	事務職	労務・技能職	サービス職	販売	無回答	主婦・主夫	無職の学生	その他の無職		
195	2	164	29	-	899	58	206	240	169	212	14	296	58	226	6	1,680
11.6	0.1	9.8	1.7	-	53.5	3.5	12.3	14.3	10.1	12.6	0.8	17.6	3.5	13.5	0.4	100.0

(4) 雇用形態(勤めのみ n=899)

正社員、正規職員			派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど			無回答	計
	男	女		男	女		
554	349	205	324	100	224	21	899
61.6	38.8	22.8	36.0	11.1	24.9	2.3	100.0

(5) 住居形態

持家(計)	持家以外(計)		民間の借家(一戸建)	民間の借家(賃貸マンション・アパートなど集合住宅)	都市機構(旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート	社宅・公務員住宅など給与住宅	住み込み・寮・寄宿舎など	その他	無回答	計	
	持家(二戸建)	持家(分譲マンションなど集合住宅)									
1146	887	259	523	33	360	97	28	5	-	11	1,680
68.2	52.8	15.4	31.1	2.0	21.4	5.8	1.7	0.3	-	0.7	100.0

(6) 未・既婚

未婚 (計)	既婚 (計)		無回答	計					
	男	女			有配偶	離死別			
			男	女	男	女			
449	247	202	1,221	494	527	52	148	10	1,680
26.7	14.7	12.0	72.7	29.4	31.4	3.1	8.8	0.6	100.0

(7) 共働き状況 (既婚・有配偶のみ n=1,021)

共働きをしている (計)			共働きをしていない (計)			無回答	計
男	女		男	女			
456	205	251	552	283	269	13	1,021
44.7	20.1	24.6	54.1	27.7	26.3	1.3	100.0

(8) 子供の数

いない	いる	共働きをしていない (計)					無回答	計
		1人	2人	3人	4人	5人以上		
622	1,035	284	549	176	20	6	23	1,680
37.0	61.6	16.9	32.7	10.5	1.2	0.4	1.4	100.0

(9) 家族人数

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答	計
262	496	423	314	110	44	17	14	1,680
15.6	29.5	25.2	18.7	6.5	2.6	1.0	0.8	100.0

(10) ライフステージ ※各ステージの分類と構成条件はP⑥, ⑦参照

学校 教育期	独身期	家族 形成期	家族成長 前期	家族成長 後期	家族 成熟期	高齢期	その他	計
58	192	164	144	125	225	412	360	1,680
3.5	11.4	9.8	8.6	7.4	13.4	24.5	21.4	100.0

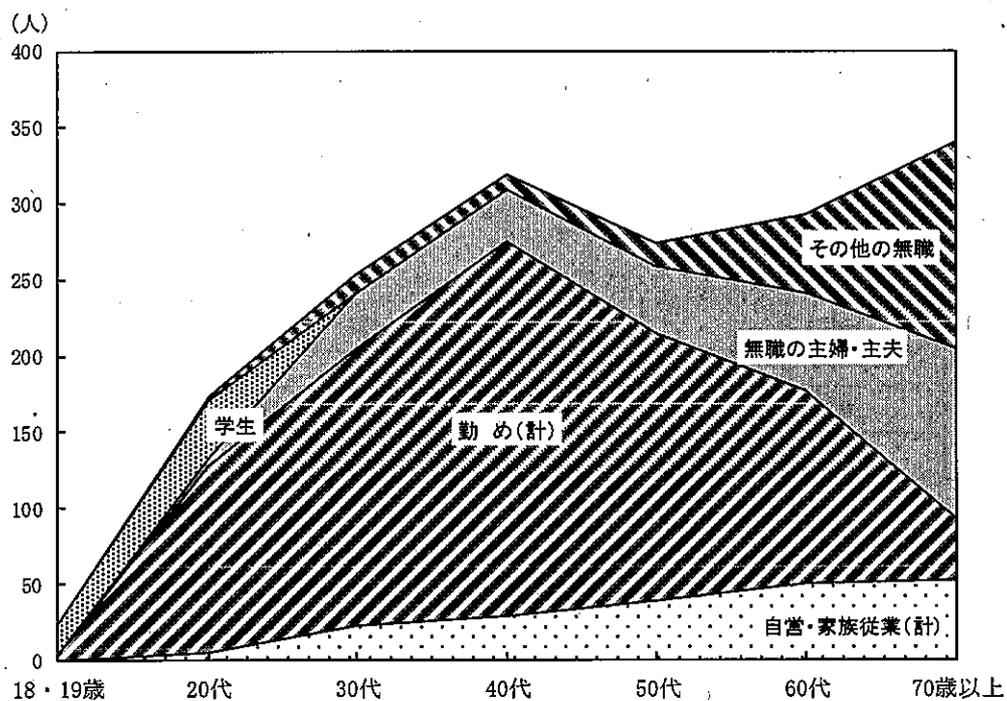
(11) 地域居住年数

1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	わから ない	無回答	計
58	142	98	215	196	161	245	546	6	13	1680
3.5	8.5	5.8	12.8	11.7	9.6	14.6	32.5	0.4	0.8	100.0

(12) 居住エリア ※各エリアの範囲はP⑤参照

区部 (計)	市町村部 (計)			計					
	センター ・コア	区部東部 ・北部	区部西部 ・南部		多摩東部	多摩 中央部北	多摩 中央部南	多摩西部 ・島しょ	
1,084	260	333	491	596	188	94	264	50	1,680
64.5	15.5	19.8	29.2	35.5	11.2	5.6	15.7	3.0	100.0

※ 年齢別職業分布



	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	計
自営・家族従業(計)	-	5	22	28	38	50	52	195
勤め(計)	3	123	182	247	176	127	41	899
無職の主婦・主夫	-	5	37	34	45	64	111	296
学生	20	38	-	-	-	-	-	58
その他の無職	-	2	12	10	15	51	136	226
計	23	173	253	319	274	292	340	1,674

(注) 無回答を除く

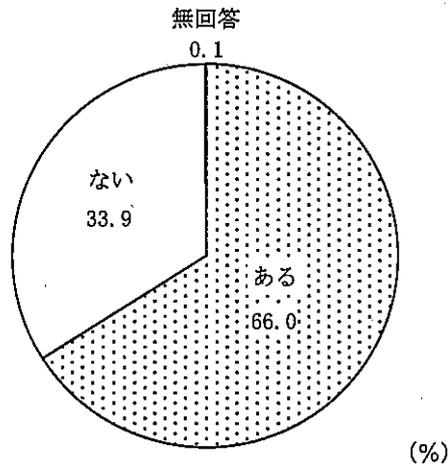
6-3 かかりつけ医の有無

図6-3-1

(全員に)

Q23. 「かかりつけ医」とは普段からかかりつけている医療機関のことです。あなたには「かかりつけ医」がありますか。

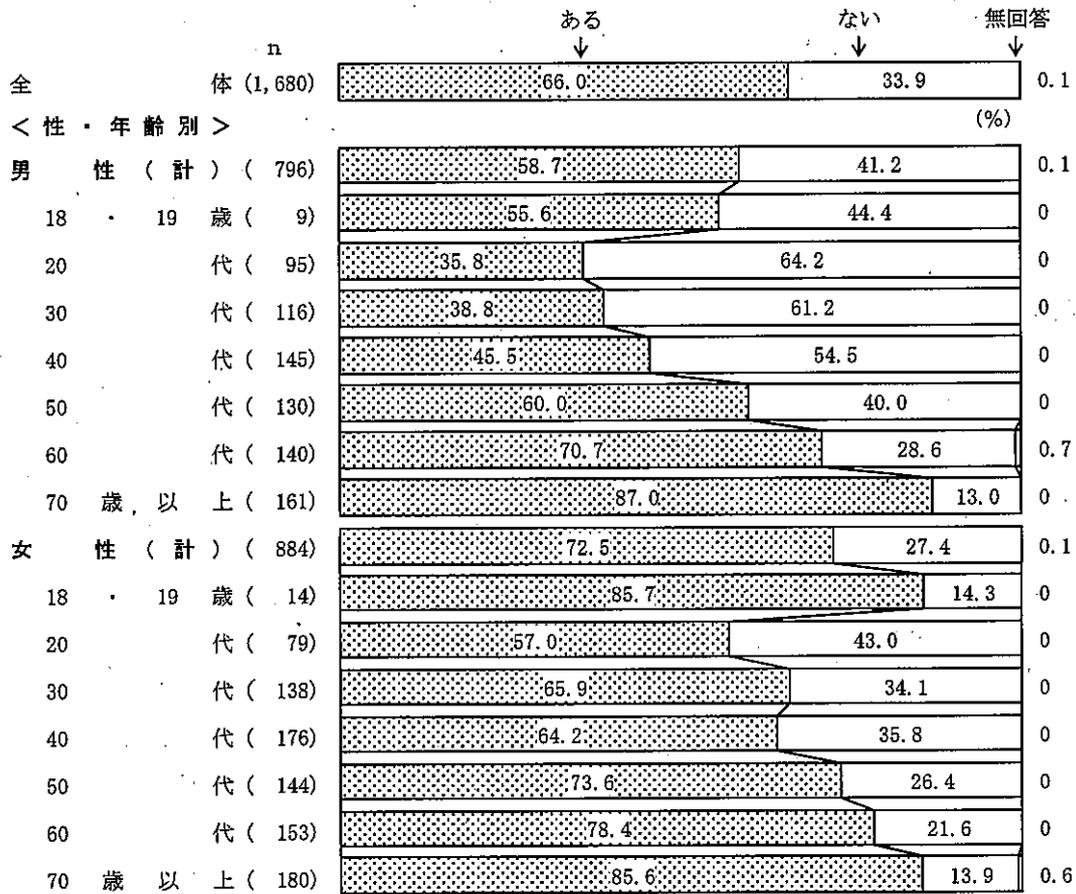
(n=1,680)



普段からかかりつけている医療機関「かかりつけ医」があるかを聞いたところ、「ある」が66%、「ない」が34%となっている。(図6-3-1)

性・年齢別にみると、「ある」は女性（計）で7割を超え、男性（計）と比べ14ポイント高くなっている。また、「ある」は男性の70歳以上で9割近く、女性の70歳以上で8割半ば、女性の60代で8割近くと、それぞれ多くなっている。（図6-3-2）

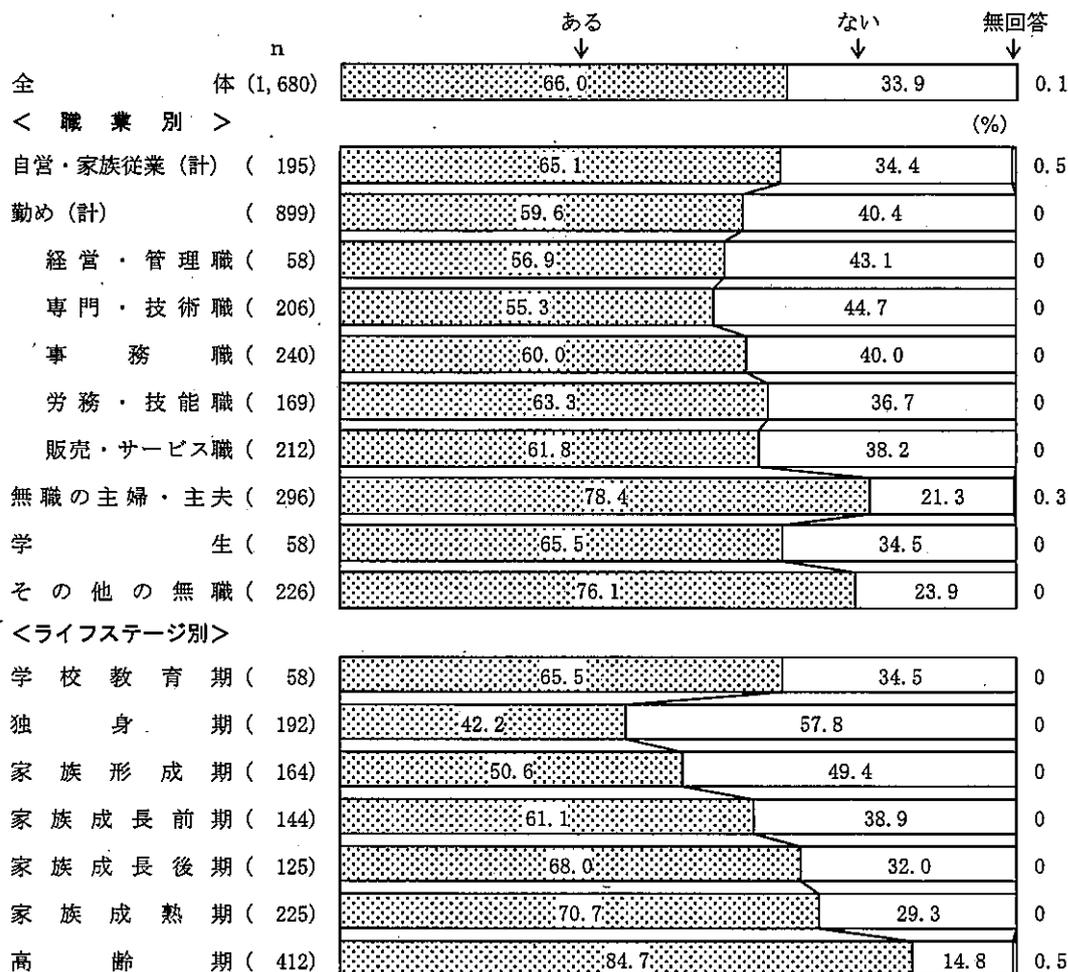
図6-3-2 かかりつけ医の有無—性・年齢別



職業別にみると、「ある」は無職の主婦・主夫で8割近く、その他の無職で7割半ばと、それぞれ多くなっている。一方、「ない」は勤め（計）で約4割と多く、特に専門・技術職で4割半ば、経営・管理職で4割を超えて、それぞれ多くなっている。

ライフステージ別にみると、「ある」は高齢期で8割半ばと多くなっている。一方、「ない」は独身期で6割近く、家族形成期で5割近くと多くなっている。（図6-3-3）

図6-3-3 かかりつけ医の有無—職業別、ライフステージ別



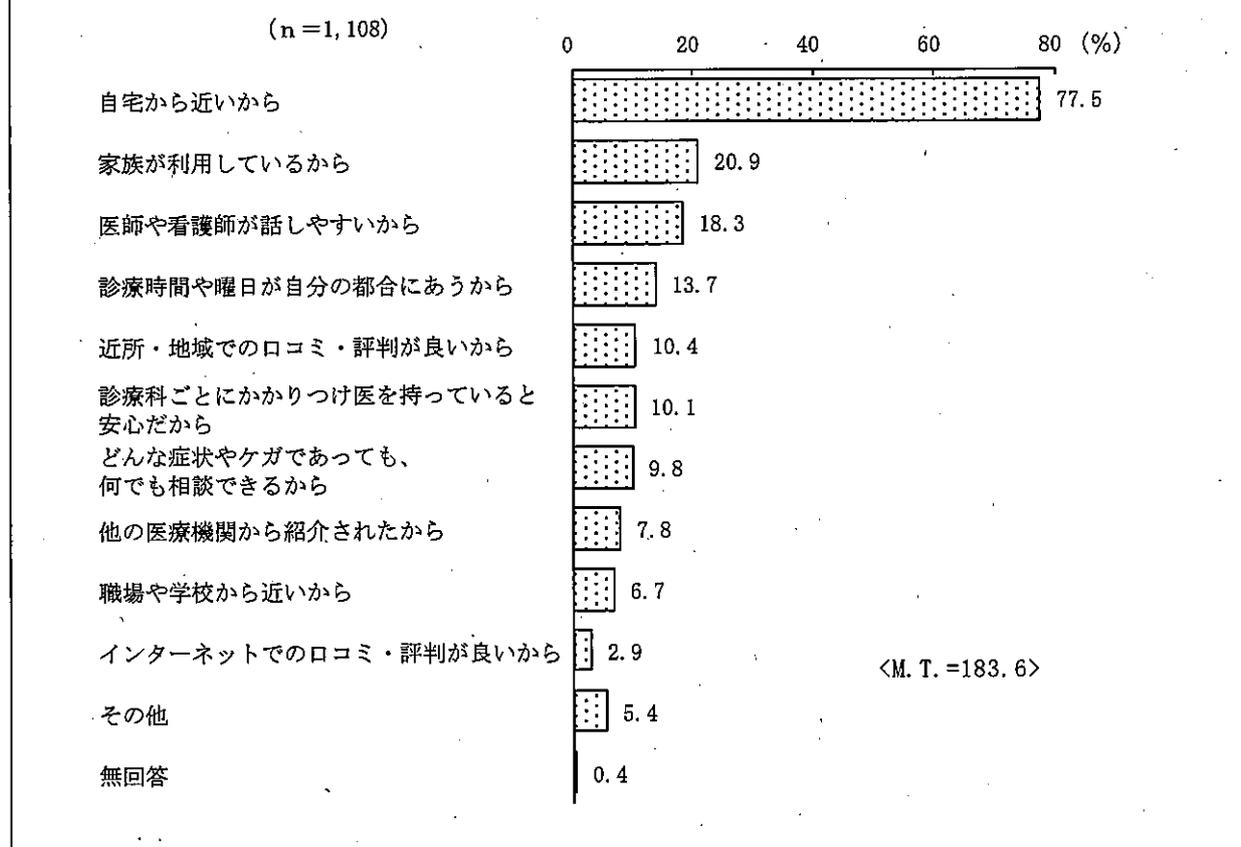
6-4 今のかかりつけ医を選んだ理由

図6-4-1

(Q23で「1 ある」と答えた方に)

S Q. あなたが今のかかりつけ医を選んだ理由は何ですか。この中からいくつでもお選びください。

(M. A.)



かかりつけ医が「ある」と答えた人 (1,108人) に、今のかかりつけ医を選んだ理由を聞いたところ、「自宅から近いから」が78%と最も多く、次いで「家族が利用しているから」21%、「医師や看護師が話しやすいから」18%、「診療時間や曜日が自分の都合にあうから」14%などの順となっている。

(図6-4-1)

性・年齢別にみると、「家族が利用しているから」は男性の20代、女性の20代と30代で3割台と多くなっている。「診療時間や曜日が自分の都合にあうから」は男性の40代で2割を超えて多く、「診療科ごとにかかりつけ医を持っていると安心だから」は男性の70歳以上で2割近くと多くなっている。また、「医師や看護師が話しやすいから」は女性（計）で約2割と、男性（計）と比べ5ポイント高く、「近所・地域での口コミ・評判が良いから」でも女性（計）で1割を超え、男性（計）と比べ5ポイント高くなっている。（表6-4-1）

表6-4-1 今のかかりつけ医を選んだ理由—性・年齢別

		(%)											
	n	自宅から近いから	家族が利用しているから	医師や看護師が話しやすいから	診療時間や曜日が自分の都合にあうから	近所・地域での口コミ・評判が良いから	診療科ごとにかかりつけ医を持っていると安心だから	何でも相談できるから	どんな症状やケガであっても、	他の医療機関から紹介されたから	職場や学校から近いから	インターネットでの口コミ・評判が良いから	その他
全体	1,108	77.5	20.9	18.3	13.7	10.4	10.1	9.8	7.8	6.7	2.9	5.4	
<性・年齢別>													
男性（計）	467	76.4	19.9	15.6	11.6	7.3	11.8	9.0	9.2	7.5	1.7	5.1	
18・19歳	5	100.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20代	34	82.4	35.3	17.6	5.9	5.9	2.9	8.8	-	-	5.9	5.9	
30代	45	77.8	22.2	17.8	4.4	4.4	4.4	2.2	6.7	13.3	4.4	6.7	
40代	66	68.2	10.6	12.1	22.7	9.1	7.6	6.1	7.6	10.6	3.0	6.1	
50代	78	75.6	28.2	10.3	17.9	7.7	12.8	7.7	10.3	6.4	1.3	2.6	
60代	99	73.7	17.2	16.2	15.2	5.1	11.1	9.1	13.1	12.1	-	9.1	
70歳以上	140	80.0	16.4	19.3	4.3	9.3	18.6	13.6	10.0	3.6	0.7	2.9	
女性（計）	641	78.3	21.7	20.3	15.3	12.6	8.9	10.5	6.7	6.1	3.7	5.6	
18・19歳	12	91.7	66.7	8.3	16.7	16.7	-	-	8.3	8.3	16.7	-	
20代	45	80.0	33.3	22.2	20.0	11.1	2.2	6.7	4.4	8.9	8.9	4.4	
30代	91	79.1	31.9	18.7	16.5	9.9	4.4	5.5	5.5	9.9	8.8	4.4	
40代	113	76.1	23.9	24.8	17.7	14.2	11.5	8.0	4.4	10.6	3.5	6.2	
50代	106	77.4	17.0	23.6	18.9	8.5	11.3	12.3	10.4	3.8	3.8	7.5	
60代	120	75.0	15.0	15.0	15.8	15.0	12.5	12.5	8.3	5.0	-	5.0	
70歳以上	154	81.2	15.6	20.1	8.4	14.3	7.8	14.3	5.8	1.9	1.3	5.8	

職業別にみると、「診療時間や曜日が自分の都合にあうから」は勤め（計）で2割近くと多く、特に事務職、販売・サービス職で2割を超えて多くなっている。「職場や学校から近いから」は経営・管理職で2割を超えて多くなっている。「診療科ごとにかかりつけ医を持っていると安心だから」はその他の無職で2割近くと多く、「どんな症状やケガであっても、何でも相談できるから」でもその他の無職で1割半ばと多くなっている。

ライフステージ別にみると、「家族が利用しているから」は学校教育期で約5割、独身期で3割半ばと、それぞれ多くなっている。「どんな症状やケガであっても、何でも相談できるから」は高齢期で1割半ばと多くなっている。（表6-4-2）

表6-4-2 今のかかりつけ医を選んだ理由—職業別、ライフステージ別

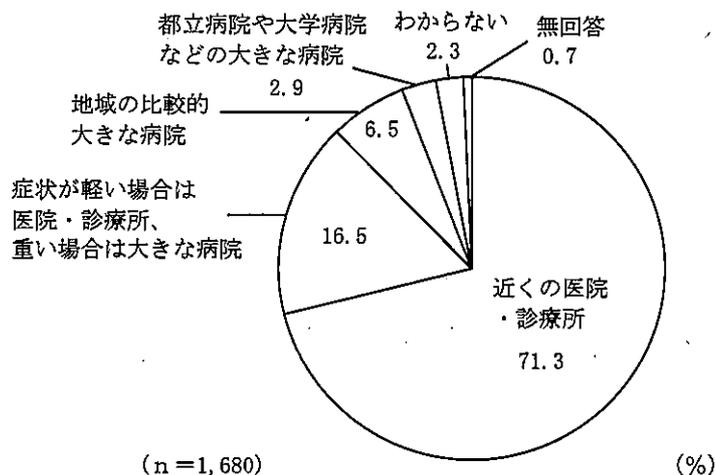
	n	自宅から近いから	家族が利用しているから	医師や看護師が話しやすいから	診療時間や曜日が自分の都合にあうから	近所・地域での口コミ・評判が良いから	診療科ごとにかかりつけ医を持っていると安心だから	どんな症状やケガであっても、何でも相談できるから	他の医療機関から紹介されたから	職場や学校から近いから	評判が良いから	インターネットでの口コミ・評判	その他
全 体	1,108	77.5	20.9	18.3	13.7	10.4	10.1	9.8	7.8	6.7	2.9	5.4	
＜職業別＞													
自営・家族従業（計）	127	78.0	18.9	20.5	10.2	9.4	11.0	11.0	10.2	4.7	2.4	7.1	
勤 め（計）	536	75.4	20.0	17.5	19.4	9.9	8.0	7.5	6.0	10.8	3.9	5.8	
経営・管理職	33	69.7	15.2	24.2	12.1	9.1	6.1	9.1	12.1	21.2	3.0	15.2	
専門・技術職	114	76.3	19.3	19.3	16.7	10.5	9.6	8.8	7.9	14.0	4.4	6.1	
事務職	144	76.4	20.8	17.4	21.5	9.0	4.9	8.3	4.2	10.4	4.9	6.9	
労務・技能職	107	75.7	15.9	13.1	16.8	9.3	9.3	3.7	5.6	6.5	3.7	4.7	
販売・サービス職	131	74.8	23.7	16.8	22.9	9.9	9.2	6.9	4.6	8.4	3.1	3.1	
無職の主婦・主夫	232	79.7	21.1	20.3	9.5	12.9	10.3	11.6	9.9	1.7	2.2	3.9	
学 生	38	84.2	50.0	15.8	7.9	5.3	-	-	5.3	5.3	5.3	5.3	
その他の無職	172	79.1	18.6	17.4	4.7	9.9	17.4	16.3	9.3	2.3	0.6	5.2	
＜ライフステージ別＞													
学 校 教 育 期	38	84.2	50.0	15.8	7.9	5.3	-	-	5.3	5.3	5.3	5.3	
独 身 期	81	79.0	35.8	17.3	18.5	11.1	6.2	6.2	2.5	9.9	8.6	6.2	
家 族 形 成 期	83	77.1	21.7	20.5	12.0	8.4	4.8	1.2	7.2	10.8	9.6	4.8	
家 族 成 長 前 期	88	81.8	23.9	15.9	17.0	12.5	8.0	10.2	1.1	10.2	4.5	5.7	
家 族 成 長 後 期	85	81.2	22.4	20.0	12.9	11.8	9.4	11.8	7.1	8.2	2.4	3.5	
家 族 成 熟 期	159	73.0	16.4	19.5	18.9	7.5	13.2	10.1	9.4	5.7	1.3	5.0	
高 齢 期	349	80.8	17.5	17.5	8.9	11.5	11.7	13.5	7.2	4.9	0.6	4.6	

※6-5 最初に受診する医療機関

図6-5-1

(全員に)

Q24. あなたが体の不調などで医療機関にかかる場合、まず最初にどの医療機関にかかりますか。この中から1つだけお選びください。

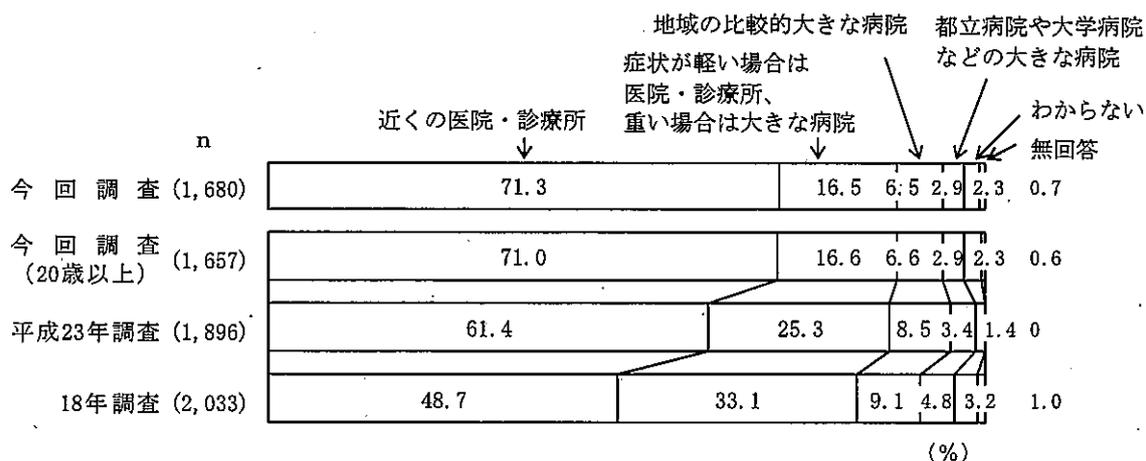


体の不調などで医療機関にかかる場合に、まずどの医療機関にかかるかを聞いたところ、「近くの医院・診療所」が71%と最も多く、次いで「症状が軽い場合は医院・診療所、重い場合は大きな病院」17%、「地域の比較的大きな病院」7%、「都立病院や大学病院などの大きな病院」3%となっている。

(図6-5-1)

最初に受診する医療機関を過去との比較でみると、今回(20歳以上)では平成23年と比べて「近くの医院・診療所」が10ポイントの増加、「症状が軽い場合は医院・診療所、重い場合は大きな病院」は9ポイントの減少となっている。(図6-5-2)

図6-5-2 最初に受診する医療機関—過去の状況



(注) 平成23年までは「スポーツ・運動と保健医療に関する世論調査」

性・年齢別にみると、「近くの医院・診療所」は女性の20代で8割を超えて多くなっている。「症状が軽い場合は医院・診療所、重い場合は大きな病院」は女性の50代と60代で2割台と多く、「地域の比較的大きな病院」は男性の50代、女性の70歳以上で1割を超えて多くなっている。(図6-5-3)

図6-5-3 最初に受診する医療機関—性・年齢別

		n	近くの医院・診療所	症状が軽い場合は 医院・診療所、 重い場合は大きな病院	地域の比較的大きな病院	都立病院や大学病院 などの大きな病院	わからない	無回答	
全	体 (1,680)		71.3	16.5	6.5	2.9	2.3	0.7	
<性・年齢別>								(%)	
男	性 (計) (796)		71.2	14.8	7.5	3.1	2.6	0.6	
18	・ 19 歳 (9)		88.9			11.1	0.0	0.0	
20	代 (95)		74.7	11.6	8.4	1.1	4.2	0.0	
30	代 (116)		74.1	12.1	3.4	1.7	6.9	1.7	
40	代 (145)		72.4	18.6	4.8	2.8	1.4	0.0	
50	代 (130)		70.0	14.6	11.5	2.3	0.8	0.8	
60	代 (140)		65.7	16.4	8.6	5.0	3.6	0.7	
70	歳以上 (161)		70.8	14.3	8.7	5.0	0.6	0.6	
女	性 (計) (884)		71.3	18.0	5.5	2.6	1.9	0.7	
18	・ 19 歳 (14)		85.7			7.1	0.0	7.1	
20	代 (79)		81.0	11.4	1.3	1.3	3.8	1.3	
30	代 (138)		74.6	18.1	1.4	2.2	2.9	0.7	
40	代 (176)		73.3	17.6	3.4	2.8	2.3	0.6	
50	代 (144)		66.0	24.3	6.9	2.8	0.0	0.0	
60	代 (153)		68.6	22.2	6.5	0.7	1.3	0.7	
70	歳以上 (180)		67.8	13.3	11.1	5.0	2.2	0.6	

職業別にみると、「近くの医院・診療所」は学生で8割半ばと多く、事務職、労務・技能職でも7割半ばとやや多くなっている。

ライフステージ別にみると、「近くの医院・診療所」は学校教育期で8割半ば、家族成長前期で8割近く、「症状が軽い場合は医院・診療所、重い場合は大きな病院」は家族成熟期で2割を超えて、それぞれ多くなっている。

通院経験（Q21 P103）別にみると、「症状が軽い場合は医院・診療所、重い場合は大きな病院」は通院経験が“ある”で2割近くと、通院経験が“ない”と比べ4ポイント高くなっている。

入院経験（Q22 P104）別にみると、「近くの医院・診療所」は入院経験が“ない”で7割を超え、入院経験が“ある”と比べ7ポイント高くなっている。また、入院経験が“ある”は入院経験が“ない”と比べ「都立病院や大学病院などの大きな病院」で4ポイント、「地域の比較的大きな病院」で3ポイント、それぞれ高くなっている。（図6-5-4）

図6-5-4 最初に受診する医療機関—職業別、ライフステージ別、通院経験別、入院経験別

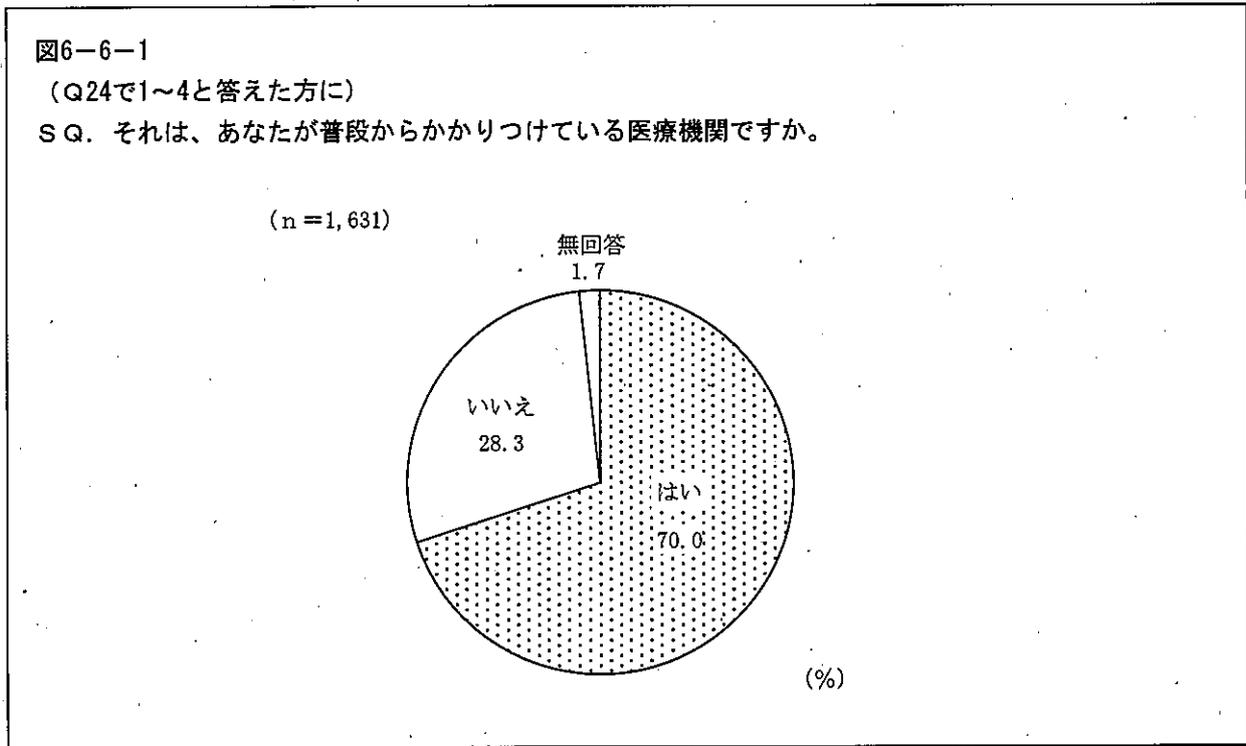
n	最初に受診する医療機関				無回答
	近くの医院・診療所	症状が軽い場合は 医院・診療所、 重い場合は大きな病院	地域の比較的大きな病院	都立病院や大学病院 などの大きな病院	
全体 (1,680)	71.3	16.5	6.6	2.9	2.3 0.7
<職業別>					
自営・家族従業 (計) (195)	70.3	13.8	7.7	2.6	4.1 1.5
勤め (計) (899)	71.9	17.4	5.2	2.7	2.3 0.6
経営・管理職 (58)	65.5	22.4	3.4	5.2	3.4 0
専門・技術職 (206)	69.4	17.5	5.8	5.3	1.5 0.5
事務職 (240)	76.3	19.2	0.8	0.4	2.5 0.8
労務・技能職 (169)	74.6	10.7	8.3	3.6	3.0 0
販売・サービス職 (212)	68.4	19.3	8.0	1.4	1.9 0.9
無職の主婦・主夫 (296)	69.9	17.2	8.1	2.7	1.0 1.0
学生 (58)	84.5	6.9	5.2	1.7	1.7 0
その他の無職 (226)	67.3	17.3	8.8	4.4	2.2 0
<ライフステージ別>					
学校教育期 (58)	84.5	6.9	5.2	1.7	1.7 0
独身期 (192)	70.3	14.1	4.7	1.6	7.3 2.1
家族形成期 (164)	74.4	20.7	1.8	1.2	1.2 0.6
家族成長前期 (144)	79.2	16.0	1.4	0.7	2.1 0.7
家族成長後期 (125)	77.6	16.0	4.8	1.6	0 0
家族成熟期 (225)	64.4	23.1	7.1	3.1	1.8 0.4
高齢期 (412)	71.8	14.1	8.0	3.4	1.7 1.0
<通院経験別>					
あ る (1,260)	70.6	17.4	6.8	3.3	1.3 0.6
な い (417)	72.9	13.9	5.5	1.7	5.0 1.0
<入院経験別>					
あ る (363)	65.6	17.9	8.8	6.1	1.1 0.6
な い (1,315)	72.9	16.0	5.8	2.0	2.6 0.7

※6-6 かかりつけの医療機関かどうか

図6-6-1

(Q24で1~4と答えた方に)

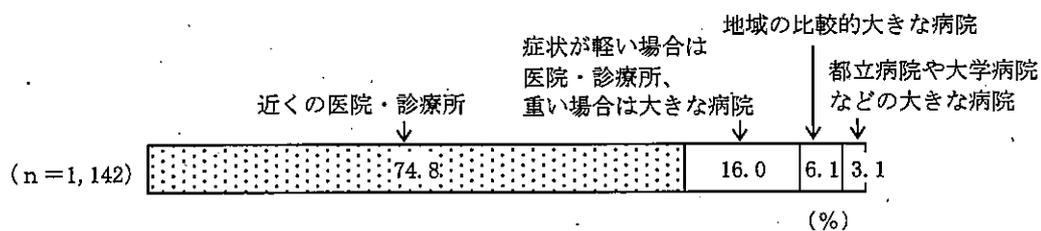
S Q. それは、あなたが普段からかかりつけている医療機関ですか。



最初に受診する医療機関が「わからない」と答えた人以外(1,631人)に、それはかかりつけの医療機関かどうかを聞いたところ、「はい」が70%となっている。一方、「いいえ」は28%となっている。

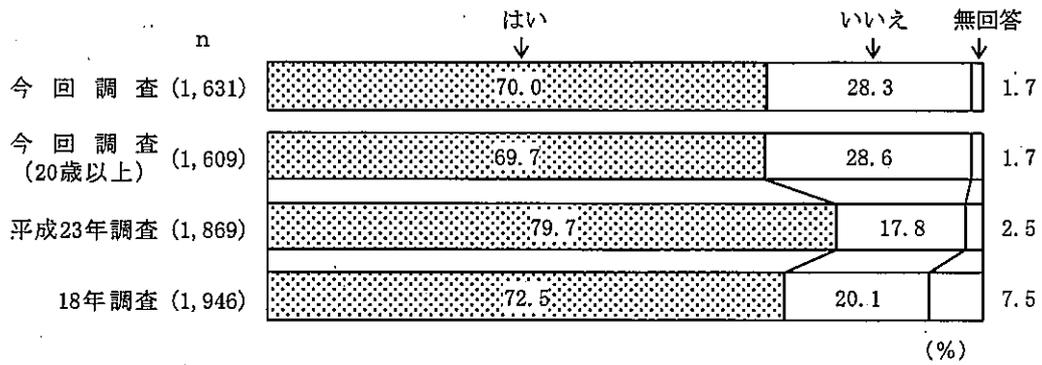
(図6-6-1)

図6-6-2 かかりつけの医療機関かどうか—「はい」を100とした場合の比率



かかりつけの医療機関かどうかを過去との比較で見ると、今回（20歳以上）では平成23年と比べて「はい」が10ポイントの減少、「いいえ」が11ポイントの増加となっている。（図6-6-3）

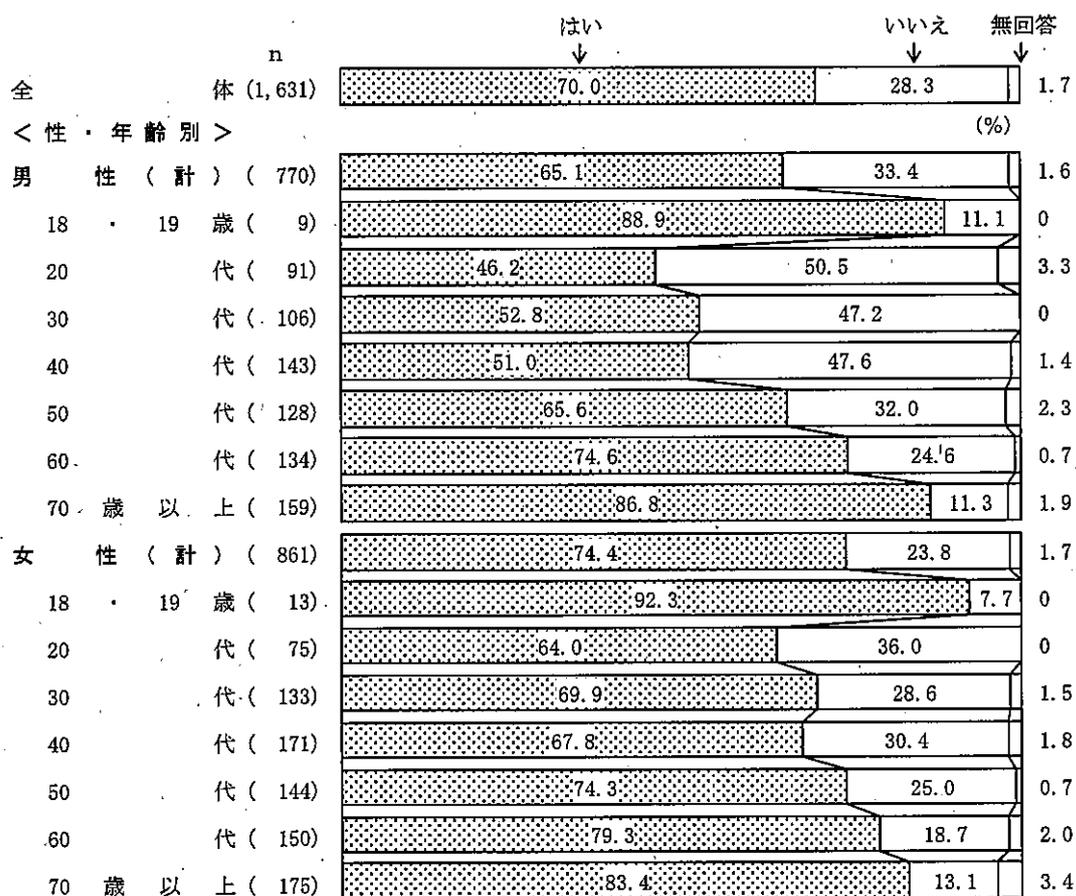
図6-6-3 かかりつけの医療機関かどうか—過去の状況



(注) 平成23年までは「スポーツ・運動と保健医療に関する世論調査」

性・年齢別にみると、「はい」は女性（計）で7割半ばと、男性（計）と比べ9ポイント高くなっている。また、「はい」は男性の70歳以上で9割近く、女性の60代と70歳以上で8割前後と多くなっている。一方、「いいえ」は男性（計）で3割を超え、女性（計）と比べ10ポイント高く、特に男性の20代、30代、40代で5割近くと多くなっている。（図6-6-4）

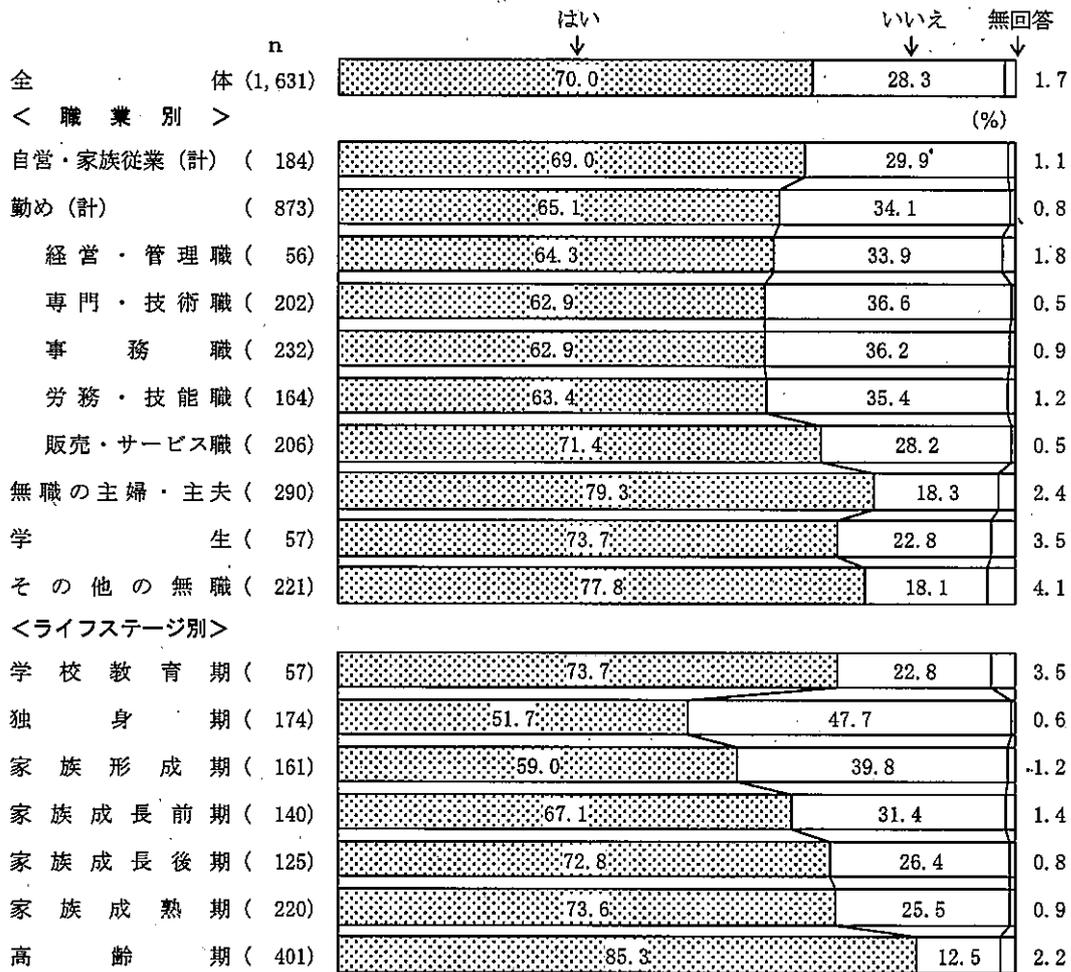
図6-6-4 かかりつけの医療機関かどうか—性・年齢別



職業別にみると、「はい」は無職の主婦・主夫、その他の無職で8割近くと多くなっている。一方、「いいえ」は勤め、(計)で3割半ばと多くなっている。

ライフステージ別にみると、「はい」は高齢期で8割半ばと多くなっている。一方、「いいえ」は独身期で5割近く、家族形成期で約4割と多くなっている。(図6-6-5)

図6-6-5 かかりつけの医療機関かどうか—職業別、ライフステージ別

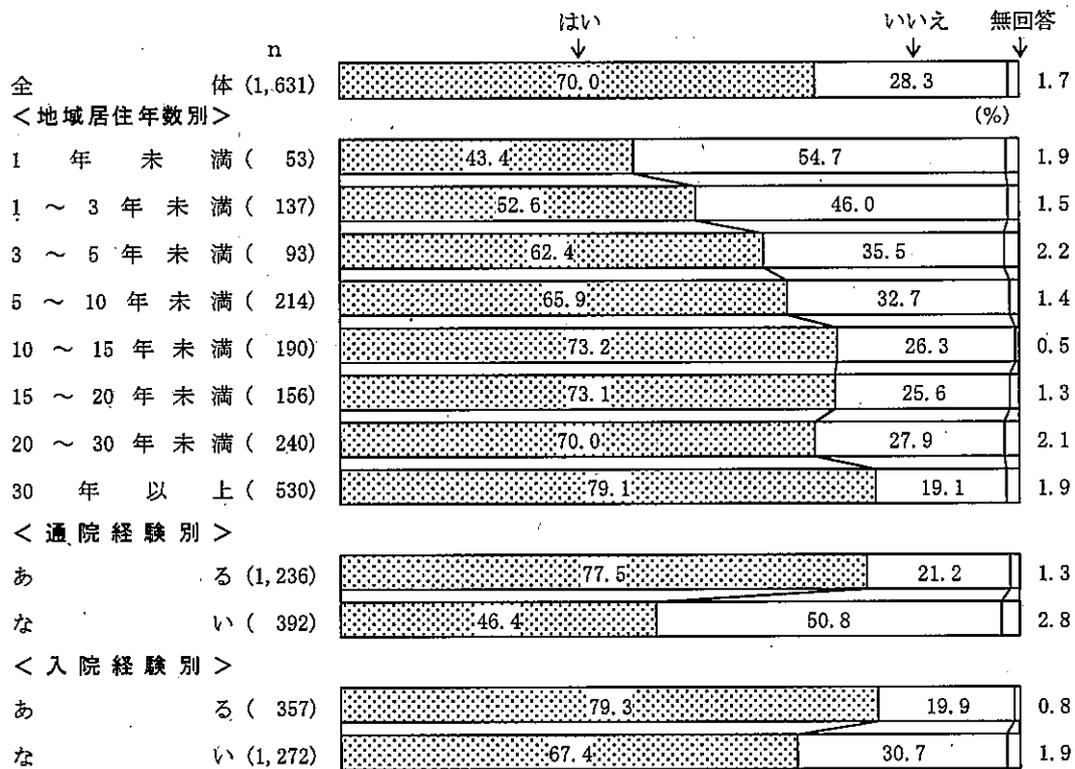


地域居住年数別にみると、「はい」は30年以上で8割近くと多くなっている。一方、「いいえ」は1年未満で5割半ば、1～3年未満で4割半ばと、それぞれ多くなっている。

通院経験（Q21 P103）別にみると、「はい」は通院経験が“ある”で8割近くと、通院経験が“ない”と比べ31ポイント高くなっている。一方、「いいえ」は通院経験が“ない”で5割を超え、通院経験が“ある”と比べ30ポイント高くなっている。

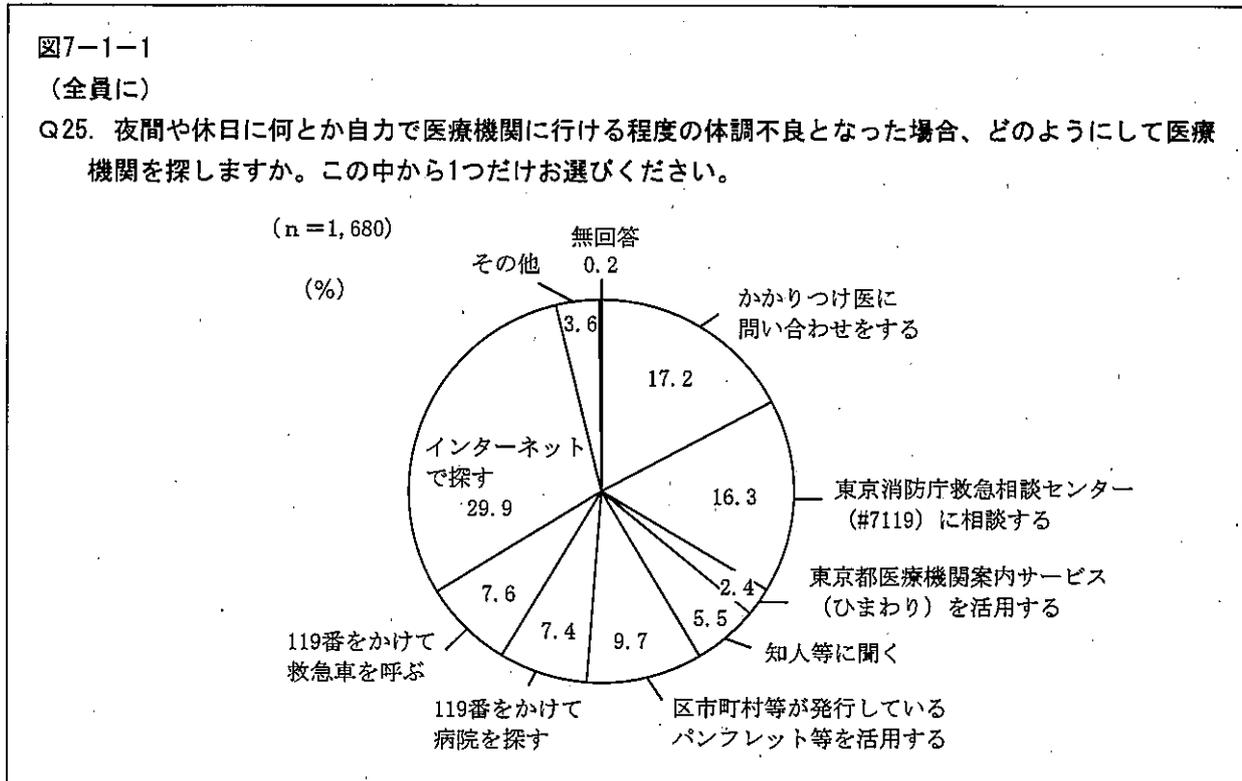
入院経験（Q22 P104）別にみると、「はい」は入院経験が“ある”で8割近くと、入院経験が“ない”と比べ12ポイント高くなっている。一方、「いいえ」は入院経験が“ない”で3割を超え、入院経験が“ある”と比べ11ポイント高くなっている。（図6-6-6）

図6-6-6 かかりつけの医療機関かどうか—地域居住年数別、通院経験別、入院経験別



7 救急医療について

※7-1 夜間や休日に医療機関を探す手段



夜間や休日に体調不良となった場合に医療機関を探す手段を聞いたところ、「インターネットで探す」が30%と最も多く、次いで「かかりつけ医に問い合わせをする」17%、「東京消防庁救急相談センター (#7119) に相談する」16%、「区市町村等が発行しているパンフレット等を活用する」10%、などの順となっている。(図7-1-1)

夜間や休日に医療機関を探す手段を過去との比較でみると、今回 (20歳以上) では平成23年と比べて「東京消防庁救急相談センター (#7119) に相談する」が15ポイント、「区市町村等が発行しているパンフレット等を活用する」が13ポイント、「東京都医療機関案内サービス (ひまわり) を活用する」、「知人等に聞く」がともに5ポイント、それぞれ減少となっている。(図7-1-2)

図7-1-2 夜間や休日に医療機関を探す手段—過去の状況

	かかりつけ医に問い合わせをする	東京消防庁救急相談センター (#7119) に相談する	東京都医療機関案内サービス (ひまわり) を活用する	知人等に聞く	区市町村等が発行しているパンフレット等を活用する	119番をかけて救急車を呼ぶ	119番をかけて病院を探す	インターネットで探す	その他	無回答
今回調査 (1,680)	17.2	16.3	2.4	5.5	9.7	7.4	7.6	29.9	3.6	0.2
今回調査 (20歳以上) (1,657)	17.2	16.5	2.4	5.3	9.8	7.5	7.7	29.6	3.7	0.2
平成23年調査 (780)	15.1	31.0	7.8	10.1	22.6	13.2				0.1

(注1) 平成23年は「スポーツ・運動と保健医療に関する世論調査」

(注2) 平成23年は「受診できる医療機関を探す」と答えた人

(注3) 「かかりつけ医に問い合わせをする」は平成23年の選択肢は「かかりつけの医療機関に問い合わせをする」

(注4) 「119番をかけて病院を探す」「119番をかけて救急車を呼ぶ」「インターネットで探す」は今回からの選択肢

性・年齢別にみると、「インターネットで探す」は女性の20代で6割を超えて最も多く、男性の30代と女性の30代でも5割台と多くなっている。「かかりつけ医に問い合わせをする」は男性の70歳以上で3割半ばと多く、「東京消防庁救急相談センター（#7119）に相談する」は男性の70歳以上、女性の60代と女性の70歳以上で2割半ばと多くなっている。「区市町村等が発行しているパンフレット等を活用する」は女性の50代で2割を超えて多く、「119番をかけて救急車を呼ぶ」は女性の70歳以上で2割近く、「119番をかけて病院を探す」は男性の60代で2割近くと、それぞれ多くなっている。（図7-1-3）

図7-1-3 夜間や休日に医療機関を探す手段—性・年齢別

性・年齢別	n	医療機関を探す手段 (%)											
		かかりつけ医に 問い合わせをする	東京消防庁救急 相談センター (#7119)に相談する	東京都医療機関 案内サービス (ひまわり)を 活用する	知人等 に聞く	区市町村等が発行している パンフレット等を活用する	119番をかけて 病院を探す	119番をかけて 救急車を呼ぶ	インターネット で探す	その他	無回答		
全体 (1,680)		17.2	16.3	2.4	5.5	9.7	7.4	7.6	29.9	3.6	0.2		
男性 (計) (796)		18.3	14.1	2.1	6.3	7.2	9.9	8.3	31.5	2.1	0.1		
18・19歳 (9)		11.1	0.0	33.3	0	11.1	0	44.4	0	0	0		
20代 (95)		14.7	6.3	9.5	3.2	5.3	7.4	49.5	4.2	0	0		
30代 (116)		11.2	10.3	2.6	6.0	0.9	6.0	6.9	53.4	2.6	0		
40代 (145)		11.0	7.6	4.8	8.3	6.9	7.6	7.6	44.1	2.1	0		
50代 (130)		16.9	14.6	2.3	3.1	10.8	7.7	8.5	36.2	0	0		
60代 (140)		18.6	15.7	0.7	6.4	14.3	19.3	7.9	15.7	0.7	0.7		
70歳以上 (161)		33.5			26.1	1.9	3.7	5.6	11.2	11.2	3.1	3.7	0
女性 (計) (884)		16.2	18.3	2.6	4.9	12.0	5.2	7.0	28.5	5.0	0.3		
18・19歳 (14)		21.4	7.1	10	14.3	0	0	57.1	0	0	0		
20代 (79)		11.4	8.9	7.6	1.3	0	6.3	60.8	3.8	0	0		
30代 (138)		8.0	14.5	1.4	4.3	8.7	2.9	4.3	55.1	0.7	0		
40代 (176)		8.5	15.3	4.5	5.1	15.9	5.7	2.8	35.2	6.8	0		
50代 (144)		13.2	15.3	3.5	3.5	22.2	4.9	4.9	29.2	3.5	0		
60代 (153)		24.2		25.5	2.6	2.6	13.7	7.8	5.9	9.8	7.8	0	
70歳以上 (180)		27.2		25.6	2.2	6.1	6.7	7.2	16.7	0.6	1.1	1.7	

職業別にみると、「インターネットで探す」は学生で5割近くと多くなっている。また、勤め（計）で約4割と多く、特に経営・管理職、専門・技術職、事務職では5割近くと多くなっている。「かかりつけ医に問い合わせをする」はその他の無職で3割近くと多く、「東京消防庁救急相談センター（#7119）に相談する」は無職の主婦・主夫、その他の無職で2割を超えて多くなっている。

ライフステージ別にみると、「インターネットで探す」は家族形成期で6割近く、独身期で5割半ばとそれぞれ多く、学校教育期、家族成長前期でも4割台と多くなっている。「かかりつけ医に問い合わせをする」は高齢期で約3割と多く、「東京消防庁救急相談センター（#7119）に相談する」でも高齢期で2割半ばと多くなっている。（図7-1-4）

図7-1-4 夜間や休日に医療機関を探す手段—職業別、ライフステージ別

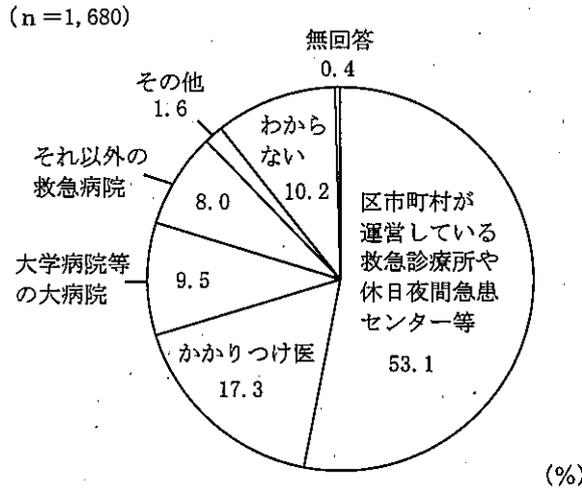
n	かかりつけ医に 問い合わせをする	東京消防庁救急 相談センター （#7119）に相談する	知人等 に聞く	東京都医療機関 案内サービス （ひまわり）を 活用する	区市町村等が発行している パンフレット等を活用する	119番をかけて 病院を探す	119番をかけて 救急車を呼ぶ	インターネット で探す	その他 無回答	
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全 体 (1,680)	17.2	16.3	2.4	5.5	9.7	7.4	7.6	29.9	3.6	0.2
< 職業別 >										
経営・管理職 (計) (195)	19.5	20.5	1.0	5.6	8.2	10.3	7.2	24.6	3.1	0
勤め (計) (899)	12.8	13.0	2.9	5.0	9.8	7.2	6.2	40.4	2.7	0
経営・管理職 (58)	10.3	5.2	3.4	3.4	13.8	8.6	6.9	48.3	0	0
専門・技術職 (206)	12.1	9.2	2.4	6.8	7.8	6.3	1.5	50.0	3.9	0
事務職 (240)	10.8	12.9	2.5	1.7	10.0	4.6	6.7	47.5	3.3	0
労務・技能職 (169)	20.7	15.4	3.6	5.9	8.3	12.4	9.5	22.5	1.8	0
販売・サービス職 (212)	10.4	17.5	3.3	6.1	9.9	7.1	7.5	36.3	1.9	0
無職の主婦・主夫 (296)	20.6	20.6	2.7	5.1	13.9	5.7	10.5	14.9	5.1	1.0
学 生 (58)	22.4	5.2	0	13.8	1.7	3.4	0	48.3	5.2	0
その他の無職 (226)	27.0	22.6	1.8	6.2	7.5	9.3	11.9	8.0	5.3	0.4
< ライフステージ別 >										
学 校 教 育 期 (58)	22.4	5.2	0	13.8	1.7	3.4	0	48.3	5.2	0
独 身 期 (192)	9.4	8.9	1.0	6.8	2.1	4.2	9.9	55.7	2.1	0
家 族 形 成 期 (164)	7.3	12.2	0.6	6.7	4.9	3.0	4.9	57.9	2.4	0
家 族 成 長 前 期 (144)	6.9	11.1	6.3	4.2	20.1	3.5	1.4	43.8	2.8	0
家 族 成 長 後 期 (125)	11.2	12.8	3.2	4.0	18.4	6.4	3.2	36.8	4.0	0
家 族 成 熟 期 (225)	12.4	19.1	4.4	3.1	16.4	9.3	6.2	24.4	4.4	0
高 齢 期 (412)	29.6	24.3	1.9	4.9	9.2	9.7	10.2	5.1	4.4	0.7

※7-2 夜間や休日に最終的に受診する医療機関

図7-2-1

(全員に)

Q26. 夜間や休日に何とか自力で医療機関に行ける程度の体調不良となった場合、あなたは最終的にどの医療機関を受診先として選択しますか。この中から1つだけお選びください。

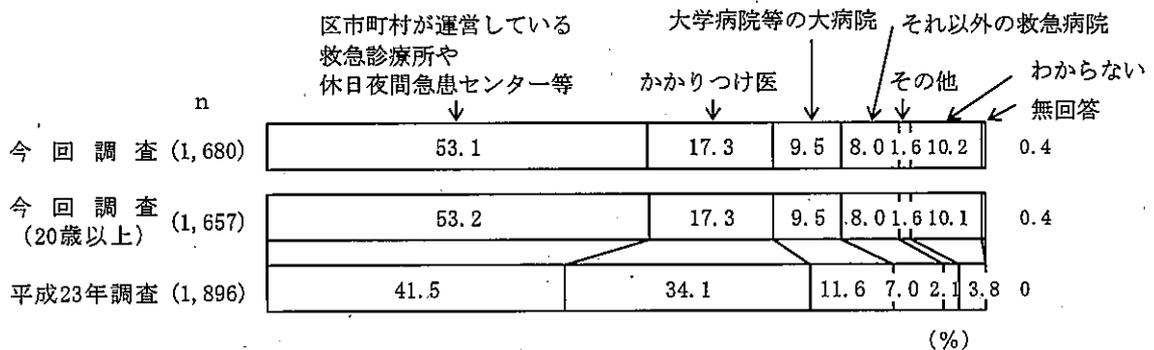


夜間や休日に体調不良となった場合、最終的にどの医療機関を受診先として選択するかを聞いたところ、「区市町村が運営している救急診療所や休日夜間急患センター等」が53%と最も多く、次いで「かかりつけ医」17%、「大学病院等の大病院」10%、「それ以外の救急病院」8%、の順となっている。

(図7-2-1)

夜間や休日に最終的に受診する医療機関を過去との比較で見ると、今回(20歳以上)では平成23年と比べて「区市町村が運営している救急診療所や休日夜間急患センター等」が12ポイントの増加、「かかりつけ医」が17ポイントの減少となっている。(図7-2-2)

図7-2-2 夜間や休日に最終的に受診する医療機関—過去の状況



(注1) 平成23年は「スポーツ・運動と保健医療に関する世論調査」

(注2) 「かかりつけ医」は平成23年の選択肢は「かかりつけの医療機関」

性・年齢別にみると、「区市町村が運営している救急診療所や休日夜間急患センター等」は女性の30代、40代、50代で6割台と多くなっている。「かかりつけ医」は女性の70歳以上で3割近くと多く、男性の60代と70歳以上、女性の60代でも2割半ばと多くなっている。(図7-2-3)

図7-2-3 夜間や休日に最終的に受診する医療機関—性・年齢別

		n	区市町村が運営している 救急診療所や 休日夜間急患センター等	かかりつけ医	大学病院等の大病院	それ以外の救急病院 その他	わからない 無回答	
全	体 (1,680)		53.1	17.3	9.5	8.0 1.6 10.2	0.4	
<性・年齢別>			(%)					
男	性 (計) (796)		51.0	18.1	8.4	8.2 2.0 11.9	0.4	
18	・ 19 歳 (9)		55.6	22.2		11.1 0 11.1	0	
20	代 (95)		44.2	22.1	9.5	3.2 3.2 17.9	0	
30	代 (116)		56.9	9.5	6.0	7.8 3.4 16.4	0	
40	代 (145)		55.2	11.7	7.6	7.6 0.7 17.2	0	
50	代 (130)		59.2	13.8	3.1	13.8 2.3 6.9	0.8	
60	代 (140)		43.6	23.6	14.3	7.9 1.4 9.3	0	
70	歳以上 (161)		46.6	26.1	9.3	8.1 1.9 6.8	1.2	
女	性 (計) (884)		55.0	16.6	10.4	7.8 1.2 8.6	0.3	
18	・ 19 歳 (14)		42.9	21.4	7.1	7.1 0 21.4	0	
20	代 (79)		49.4	11.4	11.4	5.1 1.3 21.5	0	
30	代 (138)		65.2		6.5	8.7 6.5 2.2 10.1	0.7	
40	代 (176)		62.5		11.4	12.5 7.4 1.1 4.5	0.6	
50	代 (144)		60.4		12.5	7.6 11.1 1.4 6.9	0	
60	代 (153)		49.7	24.2		9.8 5.9 2.0 8.5	0	
70	歳以上 (180)		43.3	28.3	12.2	9.4 0 6.1	0.6	

職業別にみると、「区市町村が運営している救急診療所や休日夜間急患センター等」は勤め（計）で5割半ばと多く、特に事務職で6割を超えて多くなっている。「かかりつけ医」は学生で3割を超え、その他の無職で2割半ばと、それぞれ多くなっている。

ライフステージ別にみると、「区市町村が運営している救急診療所や休日夜間急患センター等」は家族形成期、家族成長前期、家族成長後期で6割台と多くなっている。「かかりつけ医」は学校教育期で3割を超え、高齢期で3割近くと多くなっている。（図7-2-4）

図7-2-4 夜間や休日に最終的に受診する医療機関—職業別、ライフステージ別

n	区市町村が運営している 救急診療所や 休日夜間急患センター等						大学病院等の大病院		それ以外の救急病院		わからない 無回答
	53.1	17.3	9.5	8.0	1.6	10.2	0.4				
全 体 (1,680)	53.1	17.3	9.5	8.0	1.6	10.2	0.4				
< 職 業 別 > (%)											
自営・家族従業（計）（195）	52.3	16.9	8.7	7.2	3.1	10.8	1.0				
勤め（計）（899）	56.4	13.7	8.2	8.2	1.9	11.3	0.2				
経営・管理職（58）	53.4	17.2	10.3	12.1	0.6	9.0	0.0				
専門・技術職（206）	53.9	14.1	7.3	6.8	3.4	14.6	0.0				
事務職（240）	61.3	12.5	7.5	5.4	0.4	12.5	0.4				
労務・技能職（169）	53.8	13.6	8.3	10.7	2.4	10.7	0.6				
販売・サービス職（212）	55.7	14.2	9.9	10.4	1.9	8.0	0.0				
無職の主婦・主夫（296）	54.7	20.9	11.5	7.4	0.5	10.3	0.3				
学 生（58）	34.5	31.0	12.1	5.2	0	17.2	0.0				
その他の無職（226）	43.4	24.3	11.5	8.8	1.8	9.7	0.4				
< ライフステージ別 >											
学 校 教 育 期（58）	34.5	31.0	12.1	5.2	0	17.2	0.0				
独 身 期（192）	50.5	10.9	10.4	6.3	3.6	17.7	0.5				
家 族 形 成 期（164）	62.8	7.9	7.3	6.1	2.4	13.4	0.0				
家 族 成 長 前 期（144）	68.8	6.9	7.6	6.3	2.1	8.3	0.0				
家 族 成 長 後 期（125）	66.4	9.6	10.4	5.6	0	8.0	0.0				
家 族 成 熟 期（225）	55.6	14.2	8.4	11.1	1.8	8.4	0.4				
高 齢 期（412）	45.1	26.5	11.9	8.5	1.0	6.3	0.7				